

あべともこニュース

正義と平和が実現される社会の実現を。

◆マイナひも付け誤り1万6千件

6日の厚労委員会冒頭、ガサ地区の戦闘で病院が攻撃の的になっていること、子どもが大量虐殺されている現状を指摘。武見厚労大臣に「戦闘の停止に向けて最大限の尽力を」と強く要望。

続いて、マイナ保険証のひも付け誤りによる個人情報漏えいについて質問。政府は昨年10月に健康保険証の廃止を閣議決定しましたが、それ以前から受診記録情報が漏れていました。個人情報を守る政府の姿勢が希薄なことを指摘。消えた年金も同根です。

一方、デジタル化が進む諸外国でも各健康保険者に保険証の交付が義務付けられています。政府が法律で市町村国保などに保険証の廃止を強制するのは大問題。国民の医療を受ける権利が奪われ、交付する側の保険者機能も侵害すると迫りました。

12日、政府のマイナンバー総点検本部で確認されたひも付け誤りは全体で約1万6千件。ところが岸田総理は来秋の健康保険証廃止の方針を改めて表明。方針の撤回を求めていきます。



衆議院議員あべともこ
プロフィール

神奈川県12区（藤沢市・寒川町）
当選8回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこ子ども
クリニック（湘南台）理事長
現在、厚生労働委員会
原子力問題調査特別委員会委員

◆どうなる!?日本のエネルギー政策

12日、超党派「原発ゼロ・再エネ100の会」は、「どうなる!?日本のエネルギー政策 COP28から考えるこれから」をテーマに国会エネ調（準備会）を開催。同日までUAEドバイで開催されていたCOP28での、2030年までに世界全体の再エネ設備容量3倍、50年までに世界の原発の設備容量を5倍に増やすということについてヒアリングを行いました。

30年迄の1.5度目標や温室効果ガス46%削減等、地球温暖化対策はまったなしにも関わらず、気候変動交渉・対策の足を引っ張ったとされる化石

賞を4年連続で受賞し、もはや常連に。未来世代に向けたエネルギー政策は急務です。



出典；Climate Action Network

◆無差別殺戮を止めるために!

10日、憲法フォーラム「無差別殺戮を止めるために 戦争の即時停戦を!」と題して、伊勢崎賢治氏（東京外大名誉教授）にご講演いただきました。

昨年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻、そして10月からのパレスチナ・ガザ地区での紛争は、1990s2000年代のアフガニスタンでの「代理戦争」に起因します。米・ロ等大国の思惑で振り回された負の歴史は、今ガザ地区で、罪のない子ども約4100人が1ヶ月で死亡、10分に1人が殺されているという事態を引き起こしています。

この「非人道性」をリアルタイムで見ることができてしまう現代。「1人でも多くの命を救い、戦争犯罪の積み重ねを止めること」と伊勢崎さん。「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ」、武力によらない外交での平和への希求が急務です。



あべともこ
公式X (旧Twitter)
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、
ボランティアスタッフ募集

